

30歳から始める

# ドリフト 修練塾

目指すは  
三十路の星!



photo — 岡 拓  
撮影協力 — 味の素スタジアム report — 佐藤 圭

## 今月の課題 振り返し&サイドドリ

▶無謀? 身の程知らず? とにかくにも、4月9日のバトドリまで1ヶ月を切ってしまった……。というワケで、今回が最後の練習。バトドリで赤っ恥をかかないためのテクニックを、チンゴ先生がたたき込み! なんとか1回戦くらいは突破できる……かな?



バトドリでは、この2つの技ができないと話にならない。マサも竹ちゃんもなんとなくかたちにはなってきたけど、まだ成功率が低すぎ。言葉で説明してもどうせわかりっこないから、最後の最後まで徹底的に走り込んでもらうことにしたぞ。で、今回の練習場は「味の素スタジアム」。知ってのとおり、普段はJリーグの試合やフットサルなどでにぎわっている施設だ。その駐車場にパイロンでコースを作り、最後の特訓がスタート!

バトドリはパイロンコース。サーキットとは視界も目標物も異なるから、それに慣れることもできて一石二鳥というワケ。振り返しは2速で進入し、そのまま直ドリ。右から左へと続け、最後のパイロンで180度ターン。それを1往復続けられれば合格だ。サイドブレーキは、上下に長く伸びた「8の字」をイメージしてほしい。2速全開からサイドで進入し、スピードを調整しつつパイロンを小さく回る。コレも1往復を合格の条件とした。うーん、4月のバトドリが楽しみなような不安なような……。

### 連載

載がスタートして約1年。2人のシロート中年(?)にドリフトを教えたワケだが、ついに今回が最後の練習となつてしまった。ということで、今までにやってきたメニューを復習しておこう! まずは定常円旋回。コレが基本中の基本で、慣れてきたら円の直径をだんだん大きくしてスピードを上げ、最終的には2つの円をつなげる「8の字」まで発展させる。これなら大きな駐車場でも練習できるはずだ。次はサーキット。最初はスピードの乗る大きなコースではなく、ミニサーキットがオススメだ。初めのうちは1つのコーナーだけを徹底的

に反復練習して、リヤを流し始めるタイミングやアクセルを踏むタイミングを体で覚えよう。

それをマスターしたら、2つのコーナーをつなげる練習だ。ここでも最初は小さいコーナーのほうがいいだろう。いきなり高速コーナーに挑戦しても、操作が追いつかなくなるのは目に見えているからね。

そして最後に直ドリ。目的は、クルマのコントロールを完璧にできるようなること。蛇行しながらまっすぐ進む。これができれば振り返しはモチロン、コーナーでのステアリング修正にも役立つはずだ。振り返し」と、サイドブレーキ。



▲バトドリが近づいて、精神的にも追い詰められたマサ&竹ちゃん。いつもは走り出すと帰ってこないが、今回はいつも以上!

## いよいよバトドリ直前の卒業試験! どうにか及第点に達した……のか!?





## 連続での振り返し

■簡単なようでじつは難しい「振り返し」。操作自体も忙しいし、アクセル、ステアリング、ブレーキそれぞれのタイミングが合わないとダメなんだ。流し始めるときのきっかけは、クラッチを蹴ったほうが楽だろう。蹴ったあとは、アクセルを踏みすぎないように注意。クラッチを蹴った反動もあって、踏みすぎるとすぐ回ってしまうからね。アクセルを一瞬だけ踏み、あとは抜いてカウンターを当てながら待つ。ここで速度が乗りすぎていたら、ブレーキを踏むなどの調整も必要だぞ。そして最後のパイロンでは、180度ターンをやってみよう。そうすればスピード的にも1速に入れなければならないので、シフトダウン&アップの練習にもなるはずだ！

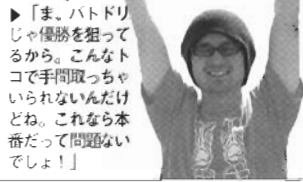


▲最後の最後に、今までにない学習能力を発揮したマサ。パイロンコースだと壁がないから、落ち着いて操作できるのかも？



▼「みんなクルマが悪いというけど、このクルマでしかドリフトしたことないからわからないんだよね。本番までに直せるかな〜？」

坂東マサ



▶「ま、バトドリじゃ優勝を狙ってるから。こんなトコで手間取っちゃいられないんだけどね。これなら本番だって問題ないでしょ！」



▲竹ちゃんは、ついにアクセルコントロールを覚えたみたい。スピンしてもアクセルを抜かない。暴走待合ぶりは変わらないが……。

前回の練習よりもかなり上達した！

## チンゴ先生の「総括」

■まずはマサ。かなり走り込んだ甲斐あって上達したね。最初はスピードが高すぎたり角度がつきすぎたりとミスも多かったけど、そこをなんとか克服したようだった。欲をいえば、もう少し同じラインで走ってくれれば……。ま、今回はかなり上出来だね！竹ちゃんは相変わらずタイヤが食わず、流しやすいけどスピンもしやすいって感じだった。アングルを維持するのが大変だったけど、アクセルコントロールを覚えてくれたので、最終的にはなんとか合格ラインを突破。ステアリング操作がスムーズになったのもGOOD！



## サイドをうまく使う

■2つのパイロンを使った「8の字」のロングバージョンって感じかな？これをやらせたのは、バトドリでは最後に小さく360度ターンすることが多いから。サイドブレーキを使ったドリフトの練習も兼ねてやらせてみたぞ。まずは斜めに2速で加速し、思い切りサイドを引く。ポイントには、フットブレーキもかけて前荷重にしてやること。そしてステアリングを切りながらサイドを引き、クラッチも踏み。リヤが流れたらカウンターを当て、ギヤを1速に落とす。そしてパイロンを中心に回り、アクセルを踏んで立ち上がるんだ。いっへんに3つも4つも操作をしないといけないので、一連の流れを覚えるのが先決だろう。慣れるまでは2速ホールドでもOK！



▲これまでなら絶対バニックになっていたのに、意外にも落ち着いて操作していたマサ。「本番に強い」というのは本当だった？



▲練習時間が少なかつたけど、あっさりコツをつかんだ竹ちゃん。11速のシフトダウンも、前回並でウソのようにスムーズだ！

坂東マサ



▼「なんとなくやりにくいと思っていたら、ハッドのせいだったんだ……。つてことは、パッドを交換して本番に臨めば完璧ってこと？」



▲「いや〜、10分も走ってないのにタイヤが終わりちゃったよ。ま、スピンしてもアクセルを踏んで抜いて、そこからすぐ減速して？」

基本はOKだけど精度に難アリ！

## チンゴ先生の「総括」

■マサの§14は、サイドが効きにくいのが難点だった。かなり上まで引いてやらないと効かないため、タイムラグが発生するんだよ。ま、リヤのパッドが温まってからはきれいに回れるようになったけども、一度に2つのことができないマサなのに、別人のような上達ぶりだったぞ。竹ちゃんもここでも食わないタイヤがネックになった。しかもすぐパストしちゃったから、練習時間も短かったかも。でも今までに比べればのみ込みも早く、かなりの進歩だったと思う。立ち上がりでとっちらかることも少なかったしね！